

(お知らせ)

平成 29 年度シマフクロウ標識調査の実施結果について

平成 29 年 7 月 5 日 (水)  
環境省 北海道地方環境事務所  
所 長: 徳丸 久衛  
野生生物課長: 田口 和哉  
野生生物課課長補佐: 小田嶋 仁

環境省 釧路自然環境事務所  
所 長: 安田 直人  
野生生物企画官: 藤井 好太郎  
野生生物課専門官: 根上 泰子 (担当)  
電話(0154)32-7500 FAX(0154)32-7575

シマフクロウは現在では北海道の道東を中心に約 140 羽のみが生息している絶滅危惧種であり、国により「シマフクロウ保護増殖事業計画 (平成 5 年 11 月 26 日策定)」が策定され保護が図られています。環境省では、保護増殖事業の一環として毎年春に標識調査を行い、個体識別、性別、来歴等の個体情報の収集、繁殖状況の把握等を行っています。

今年度の調査を実施した結果、19 巣で 21 羽のヒナに標識を装着しましたのでお知らせします。標識個体数の合計値としては例年より少ない結果となりました。なお、累積標識個体数は 524 羽です。

記

1. 調査目的 保護増殖事業の一環として、シマフクロウのヒナに標識を装着し、個体識別、性別、来歴等の個体情報の収集、繁殖状況の把握等を行っています。この調査を行うことで、シマフクロウの繁殖状況、移動分散、寿命などの重要な生態情報を得ることができます。
2. 調査期間 平成 29 年 5 月 20 日～6 月 17 日
3. 結果概要 保護増殖事業の一環として設置している巣箱を中心に調査し (一部天然木も含む)、19 巣において計 21 羽のヒナに標識を装着しました。各地域ごとの内訳は下表の通りです (生息地保全のため位置の詳細は公表しておりません)。

地球のいのち、つないでいこう

表 平成 29 年度シマフクロウ標識調査結果

地域	標識ヒナ数（巣数）
根室	10（9）
オホーツク	2（2）
釧路	5（4）
十勝	2（2）
日高	1（1）
上川	1（1）
合計	21（19）

（参考）これまでの実績

1985 年に標識調査を開始して以降、合計 524 羽に標識を装着しました。また、1986 年以降に傷病等により保護収容した個体（標識調査時のヒナを除く）の約 7 割が標識付きとなっており、個体の移動分散状況や年齢の把握等に係る重要なデータが得られています。

過去 5 年間の標識ヒナ数は以下の通りです。

2013 年 22 羽  
2014 年 28 羽  
2015 年 25 羽  
2016 年 27 羽  
2017 年 21 羽

※画像の提供は可能ですので必要な場合はご相談ください。

地球のいのち、つないでいこう



生物多様性